



おやさいクレヨン 絵画展を開催

福井信用金庫の
社会貢献

6月30日(金)、富国生命保険相互会社(以下、フコク生命)100周年プロジェクトの一環として製作した「THE MUTUAL Art for children」おやさいクレヨンが、フコク生命から福井信用金庫(本店 田原2丁目)へ贈呈され、本会および県社協を通じて、33カ所の障がいのある子ども(小学生から高校生)の放課後等デイサービス事業を行う事業所へ届けられました。

この取り組みは今回で2回目であり、クレヨンを通して社会貢献をしたいという思いのもと、配布したおやさいクレヨンで描いた絵画展を、8月下旬から同信金店舗ロビーで開催しており、今後はショッピングセンター等でも開催予定です。絵画展の詳しいスケジュールは、信金または市社協のホームページで、ご確認ください。テーマは「わたしの好きなもの」。おやさいクレヨンの優しい色合いで描かれた子どもたちの絵を、ぜひご覧ください!



▲贈呈式の様子



▲前回の絵画展の様子



福井市社会福祉協議会
ホームページ



福井信用金庫
ホームページ

「おやさいクレヨン」とは...

米ぬかから採れた米油とライスワックスをベースに、収穫の際に捨てられてしまう野菜の葉などを原材料に使用したクレヨンです。食材ロスの削減であり、万が一、口に入れても安全な素材だけでできています。



▲もっちゃん画伯の作品

東安居地区のおたからをイラスト化 ～「もっちゃん画伯」が活躍中～



「もっちゃん画伯」をご存じですか?東安居地区在住のもっちゃん画伯の作品は、地元の福祉まつり等で多くの来場者を惹きつけています。

東安居公民館では、令和3年度に、地区の自然や風景、または日常に溶け込んでいるような思い出など身近にある“地域のおたから”を住民に募集したところ多数の応募がありました。そこで、それを実際に体感してもらおうと、昨年11月6日に開催した「ひがしあご感謝祭」のイベントの一つとして、“地域のおたから”を巡る「地域のたからウォーキング」を企画。住民から寄せられた“地域のおたから”の中から特にシンボリックなものをモチーフにした参加賞を製作することになり、そのイラスト化に力を貸してくれたのが「もっちゃん画伯」でした。福井大学附属特別支援学校高等部を卒業後、就労しながら余暇には大好きな絵を描き続けている方です。

ご家族は、「話をもらった時、障がいの有無は関係なく、『息子さん、絵が上手だね。イラストをお願いできない?』と声をかけてもらったのがとても嬉しかったです。本人の好きなこと、得意なことが、住民の一人として活かせ、人に喜んでもらった機会となりました。障がいがあっても、まずはその人の良いところを見てくれる、垣根のないやりとりができる社会であってほしいです。」と話されていました。

公民館の職員の方は、「住民の方々が地域に愛着をもてるような取り組みを進める中で、もっちゃん画伯の絵はとても力になってくれています。このイラストを通してつながりがさらに深まりました。」と話されていました。

令和3年度に募集した「地域のたからもの」で、特に印象深かった6つをもっちゃん画伯がデザイン。(聖観音菩薩像、下市山ミルキングコース、カタクリの花、コスモス、トマト、ほうれん草)エコバックや缶バッジは、参加者にとっても喜ばれました。



春マルシェ(R5.3)でのクラフトコーナー(東安居オリジナル缶バッジ作り)

